



みやぎ県南中核病院お知らせ

院外広報誌

平成19年10月



CONTENTS

「地域医療の現状と今後の展開について」	2~3
「診療科紹介」、「安全に医療を受けるために」	4~5
「小児急病のてびき」、「がん診療相談支援センターのご案内」	6
「駐車場のお知らせ」、「外来ボランティア募集のお知らせ」	7
「外来診療時間及び担当医師のご案内」	8

「地域医療の現状と今後の展開について」



事務部長 櫻井博義

みやぎ県南中核病院が救急医療、保健・医療・福祉の連携の拠点として住民の皆様の期待を受け、平成14年に開院してから本年8月で5周年を迎えることができました。これもひとえに住民の皆様のご支援とご理解のたまものと厚く御礼申し上げます。

当院は開院以来、県南地域の中核的病院として二次医療や高度医療などの急性期医療に特化し、あわせて周辺の医療機関・介護施設との連携を強化することにより「医療の質と安全の確保」を提供できるよう地域医療の充実と向上に努めてまいりました。

しかし、この5年間で日本の医療環境は大きく変化しました。特に社会的な問題として病院勤務医の確保が極めて困難な状況になったことから、地域や診療科における深刻な医師不足がおきていることが毎日のように報道されています。その結果、廃院に追い込まれる病院や特定の診療科を閉鎖する病院、さらに病床を縮小せざるをえない医療機関が全国各地で増加しています。

その中でも、注目すべきことは特に自治体病院からの勤務医離れが増加しており、そのため救急告示指定を取り下げるなど、財政破綻に陥り民間へ委譲する自治体病院もでてきました。そのことが地域医療崩壊の大きな原因となっています。

自治体病院から多くの医師が去っていく、その最大の要因は過酷な労働環境と一人当たりの業務の過剰負担にあります。厚生労働省の調査によりますと、病院勤務医の平均労働時間は週63.3時間、時間外勤務時間は月93.2時間となっています。これは労災認定基準目安とされている月80時間をはるかに越える数字であり、過重労働の実態を明確に示しています。おそらくどこの病院でも、このような労働環境改善のため出来る限りの努力をしていると思いますが、解決策としては各診療科の医師を大幅に増員する以外に有効な手段はありません。しかし、特に医師不足の明らかな東北地方では容易には改善できない状況にあります。



当院ではこの問題に早くから取り組んでまいりました。

医師数の増員に努めることと同時に、医師が減員する事のないように、労働環境や過剰な負担を少しずつ改善してきました。具体的には、医師一人体制は従来6診療科でしたが、医師確保により現在では3診療科までに減少しています。

また、大学医師の支援により常勤医の当直回数を削減したり、翌日の業務軽減などにも力を注いでまいりました。その結果、開院当初は21名の医師で運営されていましたが、現在は常勤医38名に研修医14名が加わり全体で52名まで医師は増加してきました。診療科についても神経内科の新設や腫瘍内科の増設など、診療機能での充実も図られています。しかし、このような努力によっても一般内科、呼吸器科については常勤医が欠員となっており、継続的な課題となっています。

このように地域における医師不足の窮状については、国にとっても緊急かつ重要な課題であり、厚生労働省も対策を講じようとしています。その一環として、平成20年度の診療報酬改正で医師および医療機器の集約化が検討されています。具体的には、救急医療を担当する病院を見直し、脳や心臓手術などの高度な医療技術を提供できる「高度急性期病院（仮称）」の配置です。人口30万人に1ヶ所程度設置する考えで、原則として外来患者は受け付けず、他の医療機関からの紹介を基本としています。各診療科の専門医と最新医療機器などを十分に集中配置し、総合的かつ専門的な診療ができる態勢を整備することにより、重症患者のたらい回しを避けることを目的としています。

これにともない高度急性期病院以外の急性期病院は、「一般急性期病院（仮称）」として再編される予定です。一般急性期病院では、外来診療や比較的簡単な手術を行う他に、各地域の医療拠点としての役割を担うことで、医師不足の解消と高度急性期医療の確保を図ろうというものです。



この制度改革の実施については、まだ、不透明な部分も残っていますが、仮に実施されるような場合は、当仙南地域の医療体制にも少なからず影響をおよぼすものと考えられます。現在、仙南医療圏では当院と公立刈田総合病院が双子のように良く似た医療を提供しています。そのために、二つの病院が同一の診療科でそれぞれに医師を必要としていますが、これまでそれぞれの努力によって医師確保を果たしています。しかし、この深刻な勤務医不足の状況下では、永続性に乏しく長期的展望に欠けるものです。

やはり、双方の病院が今度施行されることが予想される制度改革や医療計画にしたがって医師の集約、機能分担を果たさない限り、地域医療の確保、医療の「質と安全」を守る事は出来ないと考えます。



当院と公立刈田総合病院のあり方に関しては、仙南地域医療対策委員会などで公的にも議論を重ねていますが、深刻な医師不足の今こそ二つの病院が、地域が求める医療機能を維持・向上できるように取り組むべき課題であります。そのためには、住民の皆様、構成市町の首長および行政も含めて、この問題と真摯に向き合い充分に検討の上で県南地域にとって最良の医療を選択、実現していく必要があると思われます。

今後も自治体病院の運営は医師不足や財政上の問題、さらに経営形態の変更を含め、一層厳しい局面を迎えると思いますが、職員全員で地域医療の向上と充実に全力で当たる所存であります。みやぎ県南中核病院に対し、住民の皆様のさらなるご支援とご理解をたまわりますようお願い申し上げます。



整形外科

当院の整形外科は常勤医2名で診療し、整形外科領域全般を対象としております。

スタッフ紹介

李 榮茂 医師：日本整形外科学会専門医
日本医師会認定健康スポーツ医
日本医師会認定産業医
今村 格 医師：日本整形外科学会専門医

整形外科って何

「整形外科」と聞いて、何を診療している科なのか正しく答えられる人はあまりいないと思います。「〇〇科」の〇〇には普通は体の一部が入っているか（消化器科、呼吸器科、眼科、泌尿器科）、病気の名前が入ります（アレルギー科、リウマチ科）。「整形」なんて体の部分はありませんし、「整形」なんて病名もありません。

整形外科は英語で ***orthopaedics*** といいます。***ortho*** は矯正する、であり ***paedics*** は子供です。ギリシア語由来の単語で「小児を矯正する」という意味です。18世紀当時、先天性股関節脱臼、先天性筋性斜頸、先天性内反足といった小児の奇形が主な診療対象だったからです。

日本では1900年頃、東京大学の教授が「整形外科」という訳語を考案しました。それ以前に使われていた「矯正学」よりも、意義明確、その上、口に唱えやすいと言う点まで考慮して付けられたようです。ちなみに中国語では整形外科のことを「骨科」というそうです。

その後の整形外科の発達と寿命が伸びたことにより、今では小児の奇形の矯正という原義とは違った診療内容となりました。今日の整形外科であつかう範囲は背骨、四肢の外傷、変性疾患、炎症、腫瘍です。骨関節疾患のみならず、筋、腱、靭帯、神経などの諸疾患を含みます。

私見ですが、「整形外科」というよりも「運動器外科」という名前の方が、みなさんにはわかりやすいでしょう。

整形外科と混同されやすいものとして「美容外科」と「形成外科」があります。「整形手術」と聞くと目を二重にしたり、鼻を高くしたりするものと思われがちですが、これは「美容外科」がおこなうものです。また、「形成外科」は生まれつきのものやヤケド、怪我によって生じた体の醜形を治すことを主たる目的とする科です。

文責 今村 格

「整形外科」とは……

「首から下で内臓以外の外科」
または「運動器外科」が正解です。

安全に医療を受けるために

医療を受ける当事者である
自分自身が治療に参加しましょう

これからお話しすることは、患者である自分自身が、治療に参加することによって、医療安全を高める手段の一つにするためのものです。

医療事故を防ぐための20のヒント(要約)(米国厚生省の下部機関が2000年2月、患者に向けて公表した20か条より)を、数回に分けて掲載させていただきます。

あなたにできる最も重要なことは、
あなた自身が医療チームの一員として
積極的に参加することです。

医療チームの一員として積極的に参加することは、自分自身の治療に関する一つ一つの決定に参加するということです。治療に積極的に参加している患者ほど、良い治療結果が得られる傾向にあるということです。

薬が処方されたとき

あなたを担当するすべての医師が、現在あなたが服用しているすべての薬について知っているかどうか確認しましょう。

少なくとも1年に一度、あなたが服用している薬と健康食品(サプリメント等)をすべて医師のところに持ていきましょう。

薬を持参することは、薬について医師と相談し、何か問題がないかを見つけることに役立ちます。

また医師があなたの治療歴(薬歴)を新しいものにするのに役立ち、あなたが質の高い医療を受けるのに役立ちます。

医師があなたの処方箋を書く場合、それをあなたが読めるか確認をしましょう。

医師が書いた字が読めないのなら、薬剤師も同様に医師が書いた字を読むことはできないでしょう。



薬局で薬を受け取るときには、
“これは私の主治医が処方した薬ですか？”
と確かめましょう。

処方された内容が、間違いないかを再度確認してもらいましょう。

マサチューセッツ薬学保健大学の研究によると、薬剤に関するミスの88%は、薬剤の間違い、用量の間違いによるものであることがわかつています

あなたが過去に経験した薬のアレルギーや副作用を医師が知っているかを確認しましょう。

このことは、あなたにとって問題のある薬を服用することを防ぎます。



薬が処方されたとき、薬を受け取ったとき、あなたが飲む薬について、あなたが理解できる言葉で説明してもらいましょう。

- ・この薬は何の薬ですか？
- ・どのように、いつまで、この薬を服用すればよいのですか？
- ・どんな副作用が考えられますか？もし副作用があった場合どうすればよいのですか？
- ・この薬は、私が今服用している他の薬や健康食品(サプリメント等)と一緒に飲んでも安全ですか？
- ・この薬を服用しているあいだ、どのような食べ物、飲み物、又は活動を避けるべきですか？



医療安全を高める役割を、
ご自身が治療に参加することで作り上げて行ければ
思います。



《医療安全管理室》



はじめに

小児急病のてびき

この「てびき」はご家庭で見られる小児科の症状について、とりあえず何をすればよいのか、緊急に夜間、休日救急外来を受診する必要がありそうか、を判断する際の参考にしていただけるようにこの「てびき」を作成しました。ご両親や保護者の皆様のご参考になることを願っております。



水分摂取の方法 (経口補水液の作り方)



発熱時、あるいは嘔吐、下痢が見られると水分摂取はとても大事ですが、体調の悪い子供にただ水分を取れ、と言ってもなかなか難しいかと思います。

対処 1

原則は少量を、回数多く飲ませること。

もし吐いたとしてもティースプーンなどを使って少量ずつ根気よく与え続けてください。最初は5cc（ティースプーン1杯）程度から始めて、1～5分おきに飲ませてみてはどうでしょう。

対処 2

母乳栄養児あるいはミルク栄養児は母乳やミルクを同じように少量ずつ何回にも分けて与えてください。

無理に水や、イオン水、経口補水液に変更する必要はありません。



なお、経口補水液として市販されている物もありますので、お子さまの急な嘔吐や下痢に備えて常備しておくと良いでしょう。詳しくは医師にお尋ねください。



経口補水液の作り方

嘔吐、下痢症状が見られる時は脱水を改善するために水分はもちろん、同時に塩分や糖分の補給も重要です。お時間に余裕があればこれらが適切な割合で混ざった飲料（経口補水液）を下記の要領で作って与えるとより効果的かと思います。

1

砂糖40g（上白糖大さじ4と1/2杯）と食塩3g（小さじ1/2杯）を湯冷まし1リットルによく溶かす。



2

かき混ぜて飲みやすい温度にする。



3

果汁（レモンやグレープフルーツなど）を絞ると飲みやすくなり、カリウムの補給にもなります。



（大塚製薬作成経口補水療法の手引きより）

※次回は、腹痛・こども休日夜間安心コールの予定です。

がん診療相談支援センターのご案内

当センターは、がんの治療・療養及び、生活上の問題解決の相談等を行う総合窓口です。専門の相談員がお受けいたします。また相談の内容によって、専任の医師、看護師、カウンセラーなどが対応いたします。相談は無料です。また相談の内容に関してはプライバシーを厳重に保護しています。

受付時間：月～金 **9:00～17:00**

相談員：佐藤新奈（さとうにいな）

電話：(0224) **51-5500**（代）

E-mail : gan-soudan@southmiyagi-mc.jp

ご来院のみなさまへ

外来駐車場1に、身障者用駐車スペース(車椅子優先駐車スペース)を6台分用意しております。身障者の方、車椅子の方より、一般車両の駐車により、駐車スペースを利用できない問い合わせがあり利用状況が改善されず、大変ご迷惑をおかけしております。



この度当院では、身障者用駐車場を適正にご利用していただくため、「**身障者用の駐車許可証**」を発行することにいたしました。許可証の発行は、下記の場所にてお配りしております。ご協力のほどよろしくお願ひ致します。

配布場所

1階正面玄関 総合案内

配布時間

午前9時から午前11時まで

※ご不明な点は、職員までおたずねください。



駐車場の車いす専用駐車スペースについて

当院では、駐車場に身体障害者専用駐車スペースを6台分整備しています。専用駐車スペースは青色カラー舗装してあります。病院という施設の性質上、お体の不自由な方などが多く来院されるため、身体障害者専用駐車スペースは車いすなど身体障害者の方が自ら運転し、来院された場合を最優先とさせて頂いております。

健常者が送迎や介助のため来院された場合は、正面玄関前に一時停車いただき、乗降後はすみやかに移動または一般駐車場に駐車頂くよう、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

なお、外来受診された方は、駐車料金が無料になりますので会計の際に駐車券をご提示ください。

みやぎ県南中核病院

外来ボランティア募集のお知らせ

内容 ご来院の方の院内案内や移動のお手伝い等。

活動時間 平日9:00~11:00のうち、ご希望の日時で活動していただきます。



※はじめに申し込み面談を受けていただきます。

採用が決まった方にはオリエンテーションと健康診断(無料)を受けていただきます。

専用のボランティア室をご用意しております。

問い合わせ みやぎ県南中核病院 総務課 大内まで

☎ (0224) 51-5500 内線: 2010



面会時間のお知らせ

平 日

一般病棟 14:00~20:00	2階重症病棟 14:00~16:00
---------------------	-----------------------

土曜日・日曜日・祝日

一般病棟 11:00~20:00	2階重症病棟 14:00~16:00
---------------------	-----------------------

※尚、患者さまの状態によっては上記時間でも面会のできない場合もありますので、ご了承ください。

※面会カードを発行しておりますので、お受け取りになってからご面会ください。

病院敷地内



フイリヤプラン (斑入り藪蘭)

- ◆植樹数 1058株
- ◆花季 秋
- ◆ユリ科
- ◆ホスピタルホール中庭、中央処置室前中庭ほか
- ◆紫色の小さな花が穂状に咲きます。



耐寒性、耐暑性、繁殖力があり、常緑なので、花がないときも観葉植物として珍重されています。

外来診療時間及び担当医師のご案内

2007年10月診療予定

診療科		受付時間 (診察時間)	月	火	水	木	金
内科	糖尿病	8:00~11:00 (9:00~)	×	東北大医師	×	東北大医師	東北大医師
	甲状腺 第1・3・5火曜	13:00~16:00 (13:30~)	×	東北大医師	×	×	×
	リウマチ・膠原病 第2・4金曜	13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	×	○
	腎臓病	13:00~16:00 (13:30~)	×	×	東北大医師	×	×
循環器科		8:00~11:00 (9:00~)	塩入 裕樹	井上 寛一	堀口 聰	小山 二郎	堀口 聰
消化器科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	蒲生真紀夫 (浅野 太郎)	奈良坂俊明 (柏葉 水穂)	蒲生真紀夫 (洞口 愛)	二井谷友公 (秋山 聖子)	蒲生真紀夫 (柏葉 水穂)
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	奈良坂俊明	蒲生真紀夫	二井谷友公	浅野 太郎	洞口 愛
	肝臓 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	×	×	×	×	東北大医師
腫瘍内科(紹介のみ)		8:00~11:00 (9:00~)	蒲生真紀夫	秋山 聖子	蒲生真紀夫	蒲生真紀夫	蒲生真紀夫
呼吸器科	予約・紹介のみ	8:00~11:00 (9:00~)	東北大医師	×	×	東北大医師	×
	呼吸器腫瘍 隔週水曜 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	×	×	東北大医師	×	×
神経内科		8:00~11:00 (9:00~)	望月 廣	望月 廣	瀧谷 聰 望月 廣	望月 廣	及川 崇紀
外科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	高橋 道長 力山 敏樹	後藤 慎二	武藤 満完	菅野 明弘	大沼 勝
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	高橋 道長 武藤 満完	菅野 明弘	大沼 勝 内藤 広郎	高橋 道長	後藤 慎二
	呼吸器外来 第1・3・5木曜 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	×	×	×	東北大医師	×
脳神経外科		8:00~11:00 (9:00~)	荒井 啓晶	×	荒井 啓晶	荒井 啓晶	荒井 啓晶
整形外科		8:00~11:00 (9:00~)	李／今村 (予約のみ)	李 榮茂	東北大医師 (予約のみ)	今村 格	李／今村 (新患のみ)
形成外科		8:00~11:00 (8:30~)	澤村 武 高木 尚之	澤村 武 高木 尚之	澤村 武 高木 尚之	×	澤村 武 高木 尚之
皮膚科	新患	8:00~11:00 (8:30~)	×	笹井 収	×	渡邊 将也	笹井 収
	再来	8:00~11:00 (8:30~)	×	渡邊 将也	×	笹井 収	渡邊 将也
小児科	一般 (午前)	8:00~11:00 (9:00~)	大沼 健兒 東北大医師	大場 泉	大沼 健兒 東北大医師	大場 泉	大沼 健兒
	健診/予防接種 (要予約)	13:00~14:00 (13:30~)	○	×	○	○	○
	心臓外来 (第3火曜)	13:00~14:00 (13:30~)	×	大原朋一郎	×	×	×
	一般 (午後)	15:00~16:00 (15:00~)	大沼 健兒 東北大医師	大場 泉	大沼 健兒 東北大医師	大場 泉	大沼 健兒
産婦人科		8:00~11:00 (9:00~)	阿保 秀夫	阿保 秀夫	阿保 秀夫	阿保 秀夫	阿保 秀夫
泌尿器科		8:00~11:00 (9:00~)	和泉 卓司	和泉 卓司	槐木 真明 山形大医師	槐木 真明 山形大医師	和泉 卓司
眼科		13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	東北大医師	×
耳鼻咽喉科		13:30~16:00 (14:00~)	東北大医師	×	東北大医師	×	東北大医師
歯科口腔外科 (予約・紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤 正健 浅野 由樹	伊藤 正健 浅野 由樹	伊藤 正健 浅野 由樹	伊藤 正健 浅野 由樹	伊藤 正健 浅野 由樹	伊藤 正健 浅野 由樹
	13:00~16:00 (13:30~)	浅野 由樹	伊藤 正健	×	伊藤 正健	浅野 由樹	伊藤 正健

●予約で来院される患者さんは、予約時間まで受付して下さい。

●緊急性の高い患者さんは、この時間に係なく24時間受付いたします。

なお、時間・医師等については、変更となる場合がありますのでご了承ください。